

高垣ひろのり 市政通信 vol. 7

東広島市長
高垣広徳

略歴

大阪大学工学部卒、中央大学法学部卒
広島県職員 - 東広島地域事務所建設局次長
- 土木整備部長、土木局長等を務める
(株)サタケ エンジニアリング本部部長
広島県副知事

高垣ひろのり後援会

〒739-0041 東広島市西条町寺家6343-3-704
携帯電話: 080-8450-8293 FAX: 082-426-5241
e-mail: hironori.takagaki2020@outlook.jp

高垣ひろのり後援会事務所(毎週水曜日開所)

〒739-0043 東広島市西条西本町1332



▲会議の舞台はくらら大ホール 会議後のツーショット

湯崎知事と連携会議で意見交換をしました。

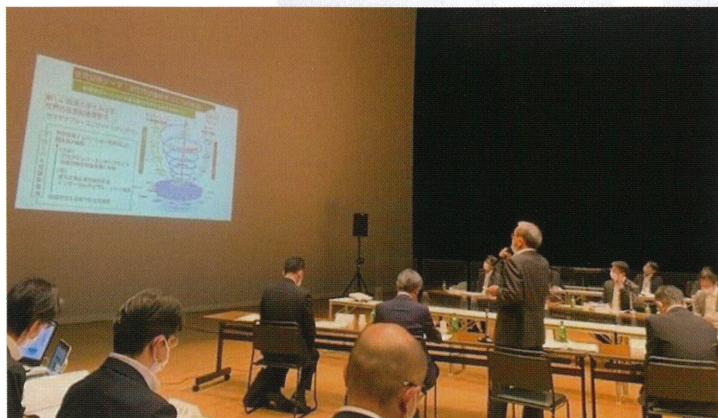
湯崎県知事をお迎えし、第5次総合計画に基づき広島大学と進めているTown & Gownやその取り組みのなかで議論してきた次世代学園都市を中心に意見交換をさせて頂きました。貴重なご意見を頂くと同時に、今後のご支援・ご指導をお願いしました。

これまで学園都市として成長してきた東広島市ですが、必ずしも研究資源が地域の活力の向上には結びついていませんでした。今後この取り組みを続け、海外からの優秀な研究者や学生も呼び込めるような次世代の学園都市を作っていきたいと考えています。

8月からアリゾナ州立大学のサンダーバード経営大学院の日本校が広島大学の中に開学します。今後が楽しみになってきました。



▲会議に先立ち広島大学内のミライクリエを視察



▲次世代学園都市構想をプレゼンテーション

【公式ホームページ】
「高垣ひろのり」

<https://h-takagaki.jp>





全国道路整備促進期成同盟会会長に 就任しました

5月18日、全国から市町村の首長が集まり道路整備の促進に関する全国大会が行われました。これに先立ち道路整備促進期成同盟会全国協議会の総会が開かれ、広島県協議会の会長であり、国土交通大臣出身県の市長である私が会長に選任されました。

東京都千代田区永田町の砂防会館別館には約600人の首長と各市町村の関係者を含め1000人近い関係者が集まりました。来賓には国土交通副大臣を始め多くの国会議員が御臨席。倉敷市長から道路の重要性、必要性の意見発表の後、「命と暮らしを守る道づくり」の決議を行い、斉藤国土交通大臣他への要望活動を行いました。

◀会長就任挨拶



第26回参议院議員通常選挙

高垣ひろのり後援会としてご支援した、宮沢洋一候補、越智俊之候補、谷谷正明候補全員が当選されました。ご支援ありがとうございました。

◀広島出陣式で広島県市長会を
代表して激励挨拶(副会長)

道の駅西条のん太の酒蔵がオープンしました

東広島市では2番目となる道の駅で、地域連携施設として、直売所、レストラン、フードコート、木の温もりに溢れる、こども向け屋内遊戯場、加工室、多目的室、屋根付き広場など、多彩な施設を備えています。また、県内では唯一の「防災道の駅」に選定され、大規模災害時には、自衛隊、消防、警察等の支援部隊の拠点または救援物資の中継・備蓄拠点となります。



【LINE】「高垣ひろのり」

<https://line.me/ti/p/-MM7up9Auo>



待
っ
て
る
よ
う
！



主な質疑

1. 東広島市の医療について

【質問要旨】

東広島市の救急医療体制の現状と今後の対応について

【答弁要旨】

初期救急につきましては、広島大学病院からの医師派遣などにより、初期救急の空白日が解消されたほか、地区医師会との連携の中で在宅当番での診療から休日診療所での診療に切り替えていただける 医師も増えてきており、目指す初期救急体制は、整ったものと認識しております。

二次救急につきましては、拠点的な病院と小児救急医療拠点病院の整備を掲げておりますが、昨年、広島大学に設置した 麻酔科の寄附講座や本年4月に設置した 小児周産期医療の寄附講座により、専門医を確保し、東広島医療センターの体制の充実を図ったところでございます。

三次救急につきましては、地域救命救急センターの整備を掲げておりますが、実現に向けては、相当数の救急専門医や医療スタッフの確保が必要となるなど、大きな課題があると認識しており、ドクターヘリの有効活用や、高速交通網の整備により広島市や呉市などの三次救急医療機関への搬送しているところです。

今後の本市の人口増加や高齢化の進展等を考えますと、これらの症例に対応できる三次救急医療機関の市内立地のニーズは、ますます高まっていくものと認識しており、現状では、三次救急医療機関へのスムーズな搬送や東広島医療センターにおいて、一部の三次救急事案にも対応できる体制、いわゆる2. 5次救急医療体制としての機能充実にに向けた取組みに対し支援を行うとともに、三次救急の整備につきましても国や県に対し、精力的に要望を行ってまいりたいと考えております。

また、来年度は、広島県保健医療計画の改訂年でもあるため、地区医師会などとも連携し、小児救急医療拠点病院や地域救命救急センターの整備など、本市の医療体制の充実について具体的な施策が計画に掲げられるよう県に対し強く要望してまいります。

2. 選ばれる都市の有効な土地利用について

【質問要旨】

「選ばれる都市」東広島の有効な土地利用について

【答弁要旨】

本市は 依然として住宅需要が高いことから、市街化区域だけでなく、市街化区域周辺の市街化調整区域におきましても、50戸連たん制度などを運用しながら、こうした住宅需要を吸収しているところでございます。

一方で、個別の開発申請につきましては、都市計画法に基づく技術基準等により審査、許可を行っておりますが、特に 50戸連たん制度などによる開発は、小規模な開発も多く、ご指摘のような行き止まり道路や 調整池不足といった課題が生じやすいということもあり、国からも、災害ハザードエリアの除外や、許可エリアを地図上で明確にするなど、ある程度 限定的な運用となるよう指導を受けているところであり、今年度、許可可能エリアの明確化を行う予定としております。

まちづくりにおいては、良好な市街地環境の整備が目標であり、そのために、50戸連たん制度も運用の見直しを行いながら、まちづくりを進めてまいりたいと考えております。

近年、多発する災害等を踏まえますと、これからのまちづくりに当たっては、人命の保護、土砂流出の抑制などの観点から、防災・減災対策が必要であると認識しております。

こうしたことから、浸水被害箇所や土砂災害警戒区域等の災害リスクの高い区域における開発許可の厳格化を行ったところであり、さらに、市街化区域内の土砂災害特別警戒区域を市街化調整区域へ編入する「逆線引き」にも着手してまいります。

今後の土地利用に関する方向性としては、こういった災害に強い「安全・安心なまちづくり」に重点を置きながら、取り組んでまいりたいと考えております。



◀正副議長と 一番右が玉川新副議長

【Facebook】
「高垣ひろのり」

<https://www.facebook.com/hironori.takagaki/>



Facebookから



Hironori Takagaki

2022年5月4日

【東広島市成人を祝う会】

5月4日(祝)11時から東広島運動公園体育館で令和3年度東広島成人を祝う会を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大が始まった一月の開催を延期し本日の開催となりましたが、1,200人余りの新成人を迎え「大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます」式典となりました。

新成人の代表者の方から誓いの言葉を宣誓していただきましたが、変革の新世紀に生まれ育った「Z世代」の皆さんには、想定外の事態に柔軟かつ果敢に挑戦し、社会を牽引していく、新し時代のリーダーとなっていたいただきたいと強く期待しています。… See More



371

6 Comments 2 Shares



Hironori Takagaki

2022年6月20日

【西条バイパス4車線化国土交通大臣要望】

西条バイパスは平成5年4月に暫定2車線で供用開始されましたが、東広島・安芸バイパスの開通が今年度末となり、開通後の交通量増大に対応するため4車線化の要望を新谷衆議院議員、斉藤国土交通大臣に行いました。

東広島・安芸バイパスの完成は、広島市とのアクセス性を格段に改善します。マツダ関連企業が多く立地する本市の物流機能が災害時も含め強化されるとともに、渋滞回避や時間短縮のために高速道路を利用していた一般車両もバイパスに転換されるようになります。… See More



439

10 Comments 7 Shares

編集後記

ここ5か月全く想定しなかったようなことが連続して起きています。ロシアのウクライナ侵略と安部前総理の選挙演説中の銃撃。まるで戦前の不穏な空気を彷彿するような事件です。現在は歴史的に見ても激動の時代で国難ともいえる様々な課題に直面し、国のかじ取りが大変難しい時ですが、同じような状況であった幕末から明治維新の国づくりに、日本の活路を見出すヒントがあるように思っています。明治政府の基本方針で日本の民主主義の原点である5か条の御誓文に基づき、これからの国のかたちを考えていくことが必要ではないでしょうか。